

事業番号	05 05 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	人生100年時代シニア活躍推進事業	部局	健康福祉部	課・室	健康増進課				
		実施期間	S38 ～	E-mail	kenko-zoshin @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

人生100年時代を迎え、健康寿命は延伸しており、介護を必要としない高齢者（元気高齢者）の割合が増加傾向にある。近年では新型コロナウイルス感染症の影響等による元気高齢者の引きこもりが課題となっており、元気高齢者のフレイル予防や、高齢者の居場所づくり・活躍の場づくりの支援が必要である。

また、総人口が減少する中で、地域の担い手を確保することが課題となっており、積極的に社会参加・地域づくりに携わるシニア人材の育成を行っている長野県シニア大学では、より多くのシニア人材を輩出することが求められる。

更に、退職後の人生を具体的にイメージする機会の不足が課題であり、現役世代に対して、退職後を見据えた社会参加や地域との関わり方に関する普及啓発や情報提供が必要である。

2 事業目的

人生100年時代を迎え、シニア世代が、培ってきた豊富な知識と経験を社会参加や仕事などの様々なステージで生かし、生涯を通じて生きがいを持って活躍できる社会の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①積極的に社会参加・地域づくりに携わるシニア人材の育成
- シニア大学の運営
 - ・【一般コース（2年制、年60時間）】社会参加の手法を学び、実践できる人材の育成
 - ・【専門コース（1年制、年35時間）】地域課題に向き合い、解決に向けて行動できるリーダーの育成
- ②シニア世代の社会参加の促進
- シニア活動推進コーディネーターによる支援
 - ・広域的かつ多様な主体との連携体制《プラットフォーム》の構築支援
 - ・退職を見据えた現役世代の社会参加・地域での居場所づくりに向けた支援
 - シニアを取り巻く環境の整備
 - ・県民参加型タウンミーティングの開催
 - ・関係団体によるネットワーク会議の開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	長野県シニア大学の卒業者数	人	387	364	↘	454	↗	517	未達成	シニア大学は2年制であり、令和6年度に卒業が見込まれる、令和5年度の入学者数が517名であったため。
②	タウンミーティング開催回数	回	10	10	→	10	→	10 以上	達成	各圏域でシニアの居場所づくりを支援することが重要であり、10圏域でそれぞれ1回以上タウンミーティングを行うことを目標として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
4-5①	高齢者の活躍の支援	生きがいを持って生活している元気高齢者の割合	%	2021 (R3)	— 実施なし	2022 (R4)	69.2	2023 (R5)	— 実施なし	2025 (R7)	60.1
4-5①	高齢者の活躍の支援	長野県シニア大学卒業後の社会参加活動実施率	%	2021 (R3)	44.9	2022 (R4)	47.9	2023 (R5)	58.1	2026 (R8)	63.1

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	157,855	752	158,607	141,787	148,839	3.0
R5年度	0	157,387	905	158,292	140,525	150,051	3.0
R4年度	0	158,850	957	159,807	140,635	151,806	3.0

事業番号	05 05 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	人生100年時代シニア活躍推進事業	部局	健康福祉部	課・室	健康増進課			

7 主な取組実績と成果

①積極的に社会参加・地域づくりに携わるシニア人材の育成

・令和 6 年度の長野県シニア大学の卒業生は一般コース・専門コース合わせて478人であり、長野県シニア大学（旧老人大学）が開講してからの卒業生は累計で51,159人となり、地域社会で活躍する多くのシニアが長野県シニア大学から輩出されている。

②シニア世代の社会参加の促進

○シニア活動推進コーディネーターによる支援

・各圏域に設置されたシニア活動推進コーディネーターが様々な機関、個人からボランティア、学校支援、地域活動等の社会参加に関する多種多様な相談を受け、総相談件数は5,396件に上った。シニア活動推進コーディネーターが各圏域に配置された平成30年から毎年5,000件以上の相談を受けており、シニアの社会参加に関する相談窓口としての役割を果たしている。

・シニア活動推進コーディネーターが主体となり、各地域の実情に応じて高齢者の関係団体を参集し情報交換等を通じて、広域的かつ多様な主体との連携を目的とするネットワーク会議が 8 圏域で 1 回以上開催され、高齢者関係団体・行政機関の間の連携をサポートする役目を担っている。

○シニアを取り巻く環境の整備

・シニアの社会参加促進に関する意識啓発を図るため、「シニア層の社会参加」をテーマに県民参加のタウンミーティングが10圏域で開催され、延べ1,110名が参加した。タウンミーティングでは参加した社会参加活動団体がシニアに自らの活動をアピールでき、シニア自身は実際に社会参加活動を行う団体を知ることができる機会となっており、タウンミーティングに参加したシニアがそれをきっかけにボランティア団体等に加入するという事例も見られている。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	長野県シニア大学の卒業生数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス流行期が明けた令和 5 年度は、入学者数が大きく増加したため、令和 6 年度卒業生数が増加した。							
指標 ②	タウンミーティング開催回数	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	達成
タウンミーティングは、シニア世代の社会参加促進に関する意識啓発と出会いの場の役割を持っており、県内10圏域でシニア層の社会参加に対する意識の高さを維持したことにより、引き続き全10圏域で開催をすることができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

○社会参加に関わる人材の育成

- ・定年延長に伴い、就労しているシニアが増加しており、平日開催のシニア大学に通うハードルが高い。
- ・支部によってシニア大学学生数の充足率が大きく異なっている。
- ・現役世代に対しても、社会参加や地域との関わり方に関する意識啓発が必要。

○シニア世代の社会参加の促進

- ・タウンミーティングへの一般のシニア層（シニア大生や社会参加活動団体以外）の参加者が少ない。

(2) 事業改善の方策

○社会参加に関わる人材の育成

- ・シニア大学に関する広報活動をさらに強化する。
- ・現役世代や就労シニアを含め幅広い年齢層が通いやすいように、魅力あるカリキュラムの見直しや普及啓発活動を強化する。
- ・一度シニア大学を卒業した人にとっても、もう一度入学したいと思えるようなカリキュラムも検討する。
- ・卒業後にスムーズに地域での社会参加活動が行えるよう、シニア活動推進コーディネーターによる支援を充実させる。

○シニア世代の社会参加の促進

- ・地域で活動するシニア地域プロデューサー等によるシニア層へ呼びかけや、マスコミへの情報提供等により一般のシニア層へタウンミーティングの存在を周知し、積極的な参加を促す。

事業番号	05 05 02	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	人生100年時代シニア活躍推進事業		部局	健康福祉部	課・室	健康増進課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金		70,226 千円	70,396 千円	73,041 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	公益財団法人長野県長寿社会開発センター運営事業補助金	補助金	シニア大学の企画・運営、信州ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭（全国ねんりんピック）への選手派遣、センター管理・運営（事業費・人件費等）に対する補助		
			シニア大学：県内10学部で各15回開催（社会活動推進員を計13名配置） センター人件費：6名分 等 補助総額：73,041千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	人生100年時代シニア活躍推進事業		44,679 千円	44,338 千円	44,226 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	人生100年時代シニア活躍推進事業 補助金	補助金	シニア活動推進コーディネーターの設置（人件費、タウンミーティング・ネットワーク会議の開催等）に対する補助		
			シニア活動推進コーディネーターの配置：11名（（公財）長野県長寿社会開発センター各支部（圏域）に1名ずつ＋本部1名） 補助総額：44,226千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	高齢者生きがい推進事業		36,901 千円	35,317 千円	31,572 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高齢者地域福祉推進事業	補助金	・単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会の活動に対する市町村を通じた補助 ・（一財）長野県シニアクラブ連合会活動推進員の設置（人件費）、研修会開催等に対する補助		
			補助件数：70市町村（単位老人クラブ 755、市町村老連 61） （一財）長野県シニアクラブ連合会活動推進員：2名 補助総額：31,432千円		
2	高齢者祝賀行事事業	直接	県内男女最高齢者に対する祝状の贈呈		
			表彰件数：県内男女最高齢者 2 件		
3	社会福祉表彰	直接	高齢者福祉分野において、顕著な功績のあった個人又は団体を表彰		
			表彰件数：16件		